

宮城県・藝術銀河参加

平成27年度 秋季展

福島美術館 由来考

共生福祉会法人設立
50周年記念

仙台の起業家・福島禎蔵が
遺したモノ——。

平成27年

9/16 水 → 11/23 月祝

伊達綱宗「弁財天牡丹図」(三幅対より)

[時間] 9:00~16:30

[料金] 一般 400円、70歳以上・学生 300円
(障がい者・高校生以下無料)

[休館日] 毎週月曜日、9/24(木)、10/13(火)、11/4(水)
(但し、9/21、10/12、11/23は開館)

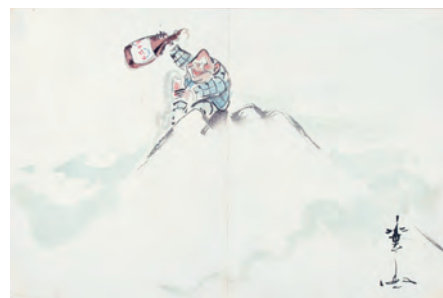
関連イベント

お電話、もしくは美術館受付にてお申込ください。

ギャラリートーク／9月19日(土)、10月24日(土) 10:30~11:30 申込不要 要入館券

ギャラリートークはスイーツの日／11月14日(土) 14:00~15:30 申込制 要入館券、お茶代300円

ふる〜い本<活版印刷>にふれてみよう!／10月31日(土)、11月1日(日) 10:00~16:00 申込不要 無料



北澤楽天「楽描帖」より
(富士山で富士ビール)



三浦乾也 茶碗「秋草残月」

10月31日と
11月1日は
東北文化の日

来館者全員に
オリジナル絵はがき
1枚プレゼント

仙台・街のちいさな美術館

社会福祉法人 共生福祉会

福島美術館

〒984-0065 仙台市若林区土樋288-2 Tel 022-266-1535 fax 022-266-1536

福島美術館 仙台

検索

fukushima-museum.jp

福島美術館 由来考

共生福祉会法人設立 50周年記念

仙台的起業家・福島禎蔵が遺したモノ——。



福島 禎蔵 (1890~1979)

福島美術館は社会福祉法人・共生福祉会が運営する美術館で昭和55年6月に開設しました。3000点余の収蔵品の多くは、共生福祉会の設立者・福島禎蔵が生前寄贈したものです。それは禎蔵と先代の與惣五郎、先々代の運藏の三代にわたり収集された美術工芸品でした。

禎蔵は父祖伝来の事業を受け継ぐ一方で、大正から昭和にかけて、若き起業家として地ビール「富士ビール」の製造販売(大正10=1921)、日本放送協会の誘致(昭和2=1927)、など様々なことをなしています。そして晩年になって興した最大の



日本放送協会仙台中央放送局 開始30周年式典 (昭和30=1955年・仙台市北一番丁)

事業が重度身体障がい者の自立と支援のための社会福祉法人・共生福祉会です。平成27年11月に社会福祉法人設立50年を迎えます。
福島家にとつて財産は社会から頂いたもので、それは社会に還元するものという意識があったようです。福島美術館の収蔵品は禎蔵が後世の人々の心の縁となるように、と共生福祉会に託したものです。是非、皆さまご覧下さい。



③



②



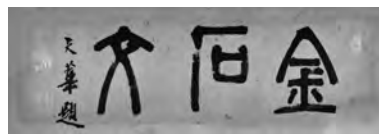
①



⑥



④



⑤

常設展示「福島家の玉手箱」

大名時計(江戸時代後期)、洋時計(大正時代)、真空管ラヂオ(昭和10年代)や、震災でも神棚から落ちなかった高村光雲刻「聖観音像」など、福島家の歴史とコレクションを常設展示しています。

次回予告

新春吉例「めでた掛け」

平成28年1月6日(水)~2月28日(日)
年の始めの展覧会にどうぞ!

交通のご案内

- 地下鉄 南北線愛宕橋駅(東出口)徒歩5分
- バス 石垣町バス停下車徒歩3分
 - 仙台市営バス 5番 若林経由
 - 宮城交通バス 3番 飯田団地行き、8番 秋保行き
- 車 仙台南ICから約20分
仙台駅から国道4号線沿い愛宕大橋
手前の信号を左折、東洋自動車(JAF)裏
駐車場5台完備

主な出品作品

- ① 佐久間晴嶽「琵琶行図」一幅(部分)
祖父・運藏は御用絵師・佐久間晴嶽と親父があった
 - ② 遠藤速雄「三聖月星図」三幅対の内、中幅
明治45年に父・與惣五郎が直接依頼した作品
 - ③ 熊耳耕年「不老長春図」一幅
父・與惣五郎が直接依頼、箱書きは藤澤幾之輔に依頼
 - ④ 伊達政宗「書・茶の湯の稽古」一幅
伊達家関連資料は100点を超す
 - ⑤ 高橋天華「書・金石文」一面(研石文庫)
大正14年から、東三番丁にかつてあった福島邸内の「琴松堂」に寓居
 - ⑥ 中村不折「富士図」一幅
大正10年に製造販売した「富士ビール」のラベルの原案となる
- ・伊達綱宗「弁財天牡丹図」三幅対
 - ・菊田伊洲「雨中の瀧図」一幅
 - ・北澤楽天「楽描帖」より 一冊
 - ・三浦乾也「茶碗 銘・秋草残月」一口
 - など書、絵画、工芸品、写真約60点

